

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 間質性肺炎患者における家族歴の有無と予後の関係

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 呼吸器内科 横村光司

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：2025年2月6日～2029年3月31日

目的：特発性肺線維症（IPF）を始めとした線維化を伴う間質性肺炎は予後不良の疾患です。IPF等の原因が明らかでない特発性間質性肺炎の20%が家族性であるという報告があります。間質性肺炎の患者さんにおいて、家族歴の有無が疾患進行や予後と関連するか明らかにします。

方法：カルテ情報を用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2009年1月から2022年10月までの間に浜松医科大学医学部附属病院、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院に通院または入院した患者さんのうち、線維化を伴う間質性肺疾患と診断された患者さん

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病歴、治療歴、胸部CTの所見、肺機能検査結果、血液検査データ等

■ 外部への試料・情報の提供

データの提供は、記憶媒体（具体的名称を記入）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、研究責任者・研究分担者が保管・管理します。

■ 研究組織

研究代表機関・責任者：浜松医科大学医学部附属病院・須田隆文

共同研究機関・責任者：聖隷浜松病院・橋本大

聖隷三方原病院・横村光司

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

(様式 17)

研究番号	第 24－80
------	---------

呼吸器センター内科 加藤慎平

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971